

# 質問・質疑

## 市政の未来を問う

この定例会では3月1日・2日・6日の3日間に、18人が登壇し39項目にわたり、市政についてたえず質問・質疑が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

### 質問・質疑項目（発言順）※印が掲載した項目です。

- 稲垣 雅弘 議員
  - ※1 インクルーシブ社会の実現に向けての特別支援教育10年の検証と展開について
- 神谷 昌宏 議員
  - 2 リニアインパクトを見据えたまちづくりについて
  - 2 学校への電子黒板・タブレットPCの導入について
  - ※3 保育の充実について
- 新海 真規 議員
  - 1 刈谷市の教育について
  - ※2 市営駐車場について
  - ※1 支え合いみんなが元気で安心して暮らせるまちづくりについて
- 加藤 賢次 議員
  - ※1 施政方針について
- 松永 寿 議員
  - ※1 平成29年度施政方針について
  - 2 平成29年度教育行政方針について
- 黒川 智明 議員
  - ※1 刈谷市の行政経営について
- 伊藤 幸弘 議員
  - ※1 刈谷の魅力発信の戦略的な取組みについて
  - ※2 家族で支え合う同居支援について
- 鈴木 綱男 議員
  - ※1 小中学校エアカン設置、防犯カメラ1,000台増強について
  - 2 西三河多アクセス道路について
- 山崎 高晴 議員
  - ※1 平成29年度施政方針について
- 新村 健治 議員
  - 1 高齢者福祉の充実について
  - 2 生活困窮者への支援について
- 野村 武文 議員
  - ※3 小中学校の朝部活と組体操などの考え方について
  - ※1 「住民の福祉の増進」による内需拡大について
  - 2 市債運用の現在と今後の考え方について
  - 3 歴史博物館の方向性について
- 上田 昌哉 議員
  - 1 これからの刈谷市について
  - ※2 刈谷市の歴史について
- 蜂須賀 信明 議員
  - 1 刈谷市の職場環境について
  - ※2 職員の労働環境について
  - 3 刈谷市職員の健康管理について

すべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。

**稲垣 雅弘 議員**  
特別支援学校開校に向け、設置主体として十分な支援を  
―指導主事を増員するなど、準備に万全を期する―

特別支援教育は、きめ細やかな支援が必要。新設される特別支援学校には、地域の小中学校におけるセンター的機能が求められるが、どのような体制を構築していくのか。

全障害種別を対象とした特別支援教育の充実を図るため、教員への支援・相談・情報提供のほか、福祉・医療等の関係機

**神谷 昌宏 議員**  
保育園整備を推進する姿勢を評価。立ち止まることなく更なる支援充実を  
―国の取り組みを考慮しながら、適宜検討していく―

新年度の入园申込状況は。昨年度から約160名増え、約760名である。

29年度は110名、30年度は225名の定員を増やすとのことだが、これまでの状況は。

25年度から4年間で、定員を465名増やしている。

公立保育園の園児一人当たりに必要な年間の経費と保護者が負担する年間の保育料は。

建設費などの投資的経費を除いて、経費は約100万円。一方、保育料は約20万円である。公立保育園では年間平均約80万円の公費が投入される。



4月に開園した空のうさぎ保育園

**新海 真規 議員**  
産業振興センター利用者に駐車料金の補助拡充を  
―現行の補助を引き続き行っていく―

総合文化センター利用者は機械に駐車券を通すだけで駐車代が4時間無料になる。一方、産業振興センター利用者は、名簿を提出しないと駐車代が補助されない。なぜ対応が違うのか。

産業振興センターの利用者である特定できる場合は、相乗駐車場の駐車代を補助しているが、不特定多数の来場に対して

**渡邊 妙美 議員**  
介護予防のために口腔ケアの取り組みを  
―歯科衛生士が中心となった新たな事業を実施―

介護予防の観点から口腔ケアは重要だと考えるが、事業の実施状況は。

摂食や嚥下などの口腔機能低下している高齢者を対象に、通所型の介護予防事業を実施している。主な内容は口腔機能の向上や誤嚥性肺炎の予防のための講話や実技等である。

平成29年度から実施する介護予防の取り組みはあるか。

口腔ケアに関しては歯科健康診査の受診を勧奨するとともに、従来の事業を見直し、歯科衛生士が中心となった事業を実施する。その他の介護予防と



口腔機能高め介護予防

**加藤 賢次 議員**  
北部地域の優良農地を維持保全するために農業の生産基盤整備を  
―後継者不足・施設の老朽化等を解消するための整備を実施―

施政方針に歴史的文化的資源を活用したまちづくりとあるが、新年度に取り組む内容は。小堤西池のカキツバタ群落での湿地サミット開催などを予定している。

北部地域のまちづくりでは、スマートICなどの都市基盤整備と農業における生産基盤整備の調和が重要である。井ヶ

松永 寿 議員  
グラウンドゴルフ専用のグラウンド整備を  
―逢妻川の整備に合わせ、河川敷に広場を整備―

グラウンドゴルフは高齢者スポーツ競技の一つとして愛好者が増えている。専用グラウンドの整備と今後の取り組みに対する考えは。

県が行う逢妻川の整備に合わせ、河川敷に広場を整備する予定である。今後も刈谷市グラウンドゴルフ連盟を通じ、積極的な大会招致に努める。

**黒川 智明 議員**  
教員と子どもが朝の部活動で1日をスタートさせることは、挨拶やマナーなどの人間性を高める上でも大切な場である。朝や土日の部活動で、授業の準備時間が圧迫され、毎日の帰宅時間が23時過ぎといった

**野村 武文 議員**  
側溝整備の早期完了を目指した計画づくりを  
―毎年の要望等を精査した上で翌年の工事を計画―

落蓋式側溝の年間の整備延長と事業費はどれくらいか。

平成28年度の整備延長は4.1kmで事業費は3億1,000万円である。また、敷設がえを必要とする860kmのうち、28年度末で428kmの整備が完了するので、整備率は約50%となる。

もっと早く整備が完了するように整備計画を策定してはどうか。

毎年、各地区から多くの側溝整備の要望がある。また、職員パトロールで整備が必要な



側溝整備の早期完了を

**鈴木 綱男 議員**  
エアカン整備で教育の充実を/防犯カメラ増強で犯罪抑止を  
―刈谷の教育の更なる質向上に期待/日本一安心安全なまちを目指す―

全小中学校へのエアカン整備で、夏休みにも教室を活用できるように。より充実し

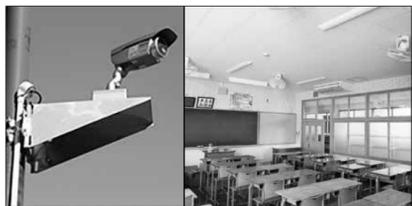
**山崎 高晴 議員**  
未来へ向けた発展のために都市基盤整備の充実を  
―産業基盤の強化や物流交通の円滑化など未来への投資に着手―

本市発展の土台づくりである都市基盤の整備充実のため

**伊勢湾岸自動車道刈谷パーキングエリアへのスマートICの設置と関連する幹線道路の整備を、スピード感を持って進め、市内の産業振興や物流の効率化、慢性的な交通渋滞の緩和を図っていく。**

市の玄関口である刈谷駅や駅周辺の今後の整備方針は。

ホームの拡張やホームドアの設置等に向けた検討を進めるほか、南北連絡通路の延伸に向けた基本設計の実施、刈谷駅



日本一安心安全なまちを目指して

**新村 健治 議員**  
朝の部活動や休日出勤など、教員の過酷な勤務実態の改善を  
―部活動指導の負担軽減に努める―

朝の部活動には、睡眠障害による子どもの成長の妨げや怪我の発生といった懸念を持つ

**黒川 智明 議員**  
朝の部活動や休日出勤など、教員の過酷な勤務実態の改善を  
―部活動指導の負担軽減に努める―

朝の部活動には、睡眠障害による子どもの成長の妨げや怪我の発生といった懸念を持つ



刈谷駅の混雑を解消し利用者の安全性確保を

**黒川 智明 議員**  
行政経営改革プラン（業務のやり方を改善する計画）とプランを基に定めた組織重点目標の内容が重なりすぎて、差異がなくなっているが。

**黒川 智明 議員**  
行政経営改革プランには、取り組むべき具体的な項目を159掲載している。その結果、組織重点目標と内容が重複し、位置づけが判りにくくなっている。

**伊藤 幸弘 議員**  
家族で支え合える三世代同居を促す施策を  
―本市の実情に応じた各種施策の検討を進めていく―

本市における三世代同居の現状は。

昭和60年が13.0%、平成27年が4.2%と大幅に減少しており、愛知県平均より低い状況である。

様々な事情により核家族化が進んでいる。世代間で助け合うことのできる三世代同居は、子育てや介護等の観点からもメリットが多く、暮らしの安心に繋がると考える。同居を促す市独自の支援策を進める考えは。

三世代同居は、教育や防災等の多方面において協力し合える。一方で、市外から若い世



三世代同居の支援充実を

**黒川 智明 議員**  
朝の部活動や休日出勤など、教員の過酷な勤務実態の改善を  
―部活動指導の負担軽減に努める―

朝の部活動には、睡眠障害による子どもの成長の妨げや怪我の発生といった懸念を持つ

**上田 昌哉 議員**  
市民との対話のために刈谷城復元のタウンミーティングを  
―今後もさまざまな方法での周知、情報発信を行っていく―

依佐美送信所は、IEDEよりマイルストーンとして認定され、世界に認められている。市民の間で機運が高まれば、無線鉄塔の復元を検討するの

高さ10分の1とした無線鉄塔の一部が記念館脇に残されており、安全面等を勘案すると、250メートルの鉄塔の復元は困難である。

刈谷城復元も市民との対話が大事であると考えますが、タウンミーティングを開催する考えはあるか。

イベントやホームページなど、さまざまな方法での周知



1月21日に開催された刈谷城シンポジウム